



国際規格の動向－国際会議に出席して－

当社に関する審議について報告する。

ISO/TC61(プラスチック)/SC6(耐候性) /WG2(光暴露) Ad-hoc Web会議

*喜多英雄

開催日:2023 年 5 月 31 日

参加国:アメリカ・イギリス・ドイツ・日本

／4 か国 8 名

ISO 4892-1 "Plastics — Methods of exposure to laboratory light sources — Part 1: General Guidance"

の CD 投票が、4 月に終わり、14 件のコメントが提出され、これらに関して議論された。

放射照度の制御幅が、現在絶対値の放射照度で規定されているが、相対値の%に変更する案のほか、章構成などの Editorial な議論があった。

開催日:2023 年 7 月 3 日

参加国:アメリカ・イギリス・ドイツ・韓国・日本

／5 か国 9 名

ISO/TS 4767 "Plastics – Method of exposure to electrodeless plasma radiation sources"の WD に関するコメント募集が 4 月に終わり、26 件のコメントが提出され、これらに関して議論された。

この試験方法は試験条件が 1 種類であるが、全文を通じて試験条件の選択肢があるような記載があり、分かりにくいため、全文を見直した。また光源のフィルターの種類も 1 種類なので、修正をする。これらの修正を行い、DTSを準備するが、発行期限が 9 月 28 日であるため、9 か月延長を行うよう中央事務局と協議する。

*校正部 部長

ISO/TC156(金属及び合金の腐食) /WG7(腐食促進試験) 対面・Web会議 スイス・チューリッヒ

**須賀茂雄

開催日:2023 年 6 月 14 日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・韓国・スウェーデン・

中国・チェコ・ドイツ・フランス・日本

／10 か国 30 名

(1)現Convenorの任期が2023年12月31日までとなり、現Vice Convenorの須賀がConvenorになる案が提示された。

(2)須賀がISO 9227(塩水噴霧試験)およびISO 10062(ガス腐食試験)に於いて、Warning内のfootnoteを修正するAmendment 1を提案。DIS案を提出し、来年6月発行を目指す。

(3)ISO 11130(浸漬試験)、ISO 16151(酸性雨サイクル試験)およびISO 16539(絶対湿度一定のサイクル試験)のSR投票の結果、すべて確認・継続となった。ISO 16539についてはMethod BのTechnical ReportをAnnexに盛り込むか否かの議論が行われた。

(4)藤田氏よりISO 16539 Method BのTechnical ReportをISO/AWI TR 8564として進めると報告された。

(5)ISO 16701(Volvo 複合サイクル試験)

Mats Ström 氏より2nd CDに対するコメントのObservationについて説明があり、DISに進めることとなった。

(6)Components and Composites

須賀より2022年会議で報告した内容を再度プレゼンした。重要な課題であるという認識はされたが、WG7よりアクションを起こさないこととなった。

(7)ISO 21207(塩水・乾燥・ガス 複合サイクル試験)

Peter Eriksson 氏より、Test method BのRound Robin Testの進捗報告が行われた。

**代表取締役社長



次回は、2024年6月24日～28日にアメリカ・クリーブランドで開催予定。

ISO/TC35 (ペイント及びワニス)/SC9 (一般試験方法)/WG31(硬化後の試験)

対面・Web会議 アメリカ・ヒューストン

*喜多英雄

開催日:2023 年 6 月 14 日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・スイス・中国・デンマーク・ドイツ・日本
／8 か国 26 名

ISO 9124(日射侵入比の測定方法)は、CD投票が昨年終わったが、DISの期限に間に合わず、PWIとなった。

ISO 11503(湿潤試験)の定期見直しでは、ISO 6270-2(湿潤試験)の改正に合わせ廃止するかAd-hoc会議で決めることとなった。ISO 6270-2(湿潤試験)、ISO 11997-1,-2(複合サイクル試験)は、改正することに決まった。またドイツからプラスチックや複合材の塗装に関しての一連の試験方法がTechnical Reportとして提案された。

次回は、2024年6月にイギリス・ロンドンで開催予定。

ISO/TC42(写真)/WG3(画像の測定), WG5(画像の保存性), WG8(画像の寸法) 日本・岡山

*喜多英雄

開催日:2023 年 6 月 19 日～20 日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・スイス・ドイツ・ベルギー・日本
／7 か国 25 名

画像の耐光性試験方法であるISO 18937-1(通則)とISO 18937-2(キセノン光源)は、6月7日に改正発行された。またPart2の試験方法でのILC(Inter Laboratory Comparison)の予備試験結果が報告され、本試験の為のAd-hoc会議が開かれることになった。

ISO18937-3(LED光源)は、CD投票が3月期限で行われ173件のコメントがあり、議論された。DISの登録期限が、5月17日であり間に合わない為一旦キャンセルされ、再度新規提案することとなった。

次回は、2023年11月にカナダ・オタワで開催予定。

*校正部 部長

TS	Technical Specification	技術仕様書
DTS	Draft Technical Specification	技術仕様書の原案
SR	Systematic Review	定期見直し
TR	Technical Report	技術報告書

< ISO規格発行までの手順 >

PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

須賀茂雄が ISO Excellence Award を受賞

当社代表取締役社長の須賀茂雄がISO Excellence Awardを受賞しました。ISO Excellence Awardは、ISOの標準化事業で際立った貢献活動を行った技術専門家に対してISO中央本部より贈られる賞です。ISO/TC156(金属)/WG7(腐食促進試験)において、2022年に発行されたISO 9227^{※1} および ISO 10062^{※2}のプロジェクトリーダーを務めた貢献が認められました。須賀の同Award受賞は2018年、2019年、2020年に続き、今回で4回目となります。

※1 ISO 9227:2022 (Corrosion tests in artificial atmospheres — Salt spray tests)

※2 ISO 10062:2022 (Corrosion tests in artificial atmosphere at very low concentrations of polluting gas(es))

